

米沢興讓館高等学校SSH通信

米沢興讓館サイエンスフォーラムin山大

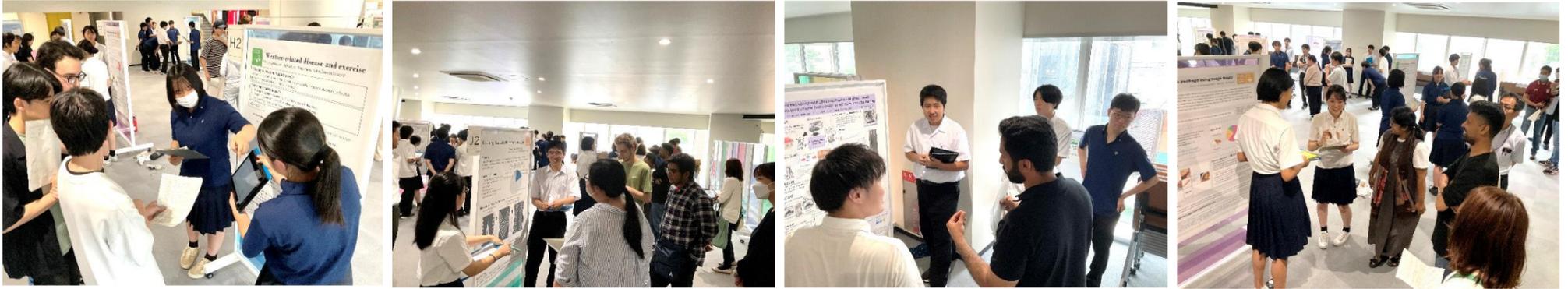
7月3日(水)、米沢興讓館サイエンスフォーラムin山大が山形大学工学部11号館有機システムフロンティアセンターを会場に開催されました。3年生生理数探究科21班およびコア・スーパーサイエンスクラブの3年生4班が英語によるポスター発表と、質疑応答を行いました。最後に、山形大学の留学生の英語による研究発表のデモンストレーションも行われました。

「米沢興讓館サイエンスフォーラム」を終えて

3年 男子

今回の「米沢興讓館サイエンスフォーラム」では、普段の学校生活では得られないような科学的、国際的な経験をすることができました。英語での研究発表を行う上で、自分の研究内容や専門用語について理解を深めたり、それをより聴衆に分かりやすく伝えるために様々な準備を行ってきました。

いままで日本語では正確に伝えられていたことも、本番当日は慣れない英語での発表で、聞いている方々に伝わっているのか不安を感じながらも、これまで培ってきた能力を発揮し、ポスター発表を無事に終えることができました。質疑応答では、自分の研究を深く理解し、的確に英語で説明する力が試され、とても有意義な時間となりました。また、留学生の発表を聞くことで、見やすいスライドの作り方や質問への答え方を学ぶことができました。今回得た経験を自分たちの将来に活かしていきたいです。



米沢興讓館国際探究フォーラム

7月3日(水) 米沢興讓館高等学校国際探究フォーラムが開催されました。3年国際探究科生徒が、これまで行ってきた研究活動について、大学講師や外国語指導助手、国際交流員などを交えた場において英語で発表を行いました。

「米沢興讓館国際探究フォーラム」を終えて

3年 女子

今回の「米沢興讓館国際探究フォーラム」では、聞き手ではなく発表者としての参加であったため、昨年度とは異なる学びを得ることができました。

能動的な発表が求められる一方で、聴衆との英語でのやり取りが必要とされるという事もあり、終始、不安や緊張感を持っていました。また、質疑応答の際に自分が伝えたい内容を英語で表現できず、悔しい思いをすることもありました。拙い英語であっても、自分の思いや考えを言葉にしたことで、相手に理解してもらえた時の感動は今もよく覚えています。

台本の無いやり取りの中で正しい英語を話せるとは限りませんが、それでも、言葉にしようとする姿勢を持つことが、外国語で意思疎通を図る際に必要不可欠であると感じました。今回の経験から得た学びや能力を今後の言語学習に役立て、自分の成長に繋げていきたいです。



山形県立米沢興讓館高等学校SSH事務局

URL <http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/index.php> Email yonekojo@pref-yamagata.ed.jp
〒992-1443 山形県米沢市大字笹野1101番地 Tel 0238-38-4741 (代表)



216